

## ● CAN'STONE 外壁施工要領（弾力性接着剤張り工法）

### 適用下地：サイディング / コンクリート / ブロック / ラスモルタル

ME-05（内・外装用壁面擬石タイルキャン'ストーン用接着剤）を使用することにより、樹脂モルタルによる湿式工法では施工できないサイディング下地などにも対応できます。

また、従来のモルタル下地であっても、モルタルによる湿式工法より弾力性をもつことから下地の動きに追従しクラックの発生も抑制させることができます。

※接着剤が硬化した後の目地モルタル充填となるため、従来の湿式工法より施工期間が長くなります。

### 1. 下地処理

#### a. コンクリートやブロック、ラスモル下地の場合

下地の点検を行い清掃を行ってください。ラスモル下地の場合は、十分な養生期間をとり完全に乾燥していること、不陸の少ないことを確認してください。

#### b. サイディングボード下地の場合

継ぎ目はしっかり固定し、下地が動かないように準備してください。

プチル系ジョイントテープを継ぎ手部、出隅部に張ってください。

※サイディングボード推奨厚：14mm 以上

#### ※ポイント※

◎施工は雨天時などは避け天気の良い日に行ってください。

◎寒冷期に施工する場合、気温が5℃以下の時、施工後養生中に5℃以下になることが想定される時は施工を行わないでください。

### 2. 張り付け作業の準備

複数のカートン内からストーンを取り出し、作業場に仮置きしてください。全体的なイメージを作り張り付け作業を開始してください。

### 3. 接着剤塗布

弾力性接着剤（ME-05）を6mmのクシ目ゴテを使い下地に塗り付けてください。

一度に塗る面積は張り付け可能時間内にストーンを張り終わる面積にしてください。

◎有効接着面積が70%以下の場合は、8mmのクシ目ゴテを使用し下地に塗り付ける弾力性接着剤（ME-05）の量を増やしたり、ストーン裏面に塗り付ける弾力性接着剤（ME-05）の使用量を増やしてください。

### 4. 張り付け

へらなどを使用して接着剤をストーンの裏面へダンゴ状に点付けします。

もしくは、ストーンの裏面全面に弾力性接着剤（ME-05）を裏足（タコ足）がみえなくなる程度塗り付けて施工してください。弾力性接着剤がみ出すまで十分押し込んでください。

#### ※ポイント※

◎張り付け途中で弾力性接着剤（ME-05）の付着状況を確認するため、2㎡おきに数枚剥して、弾力性接着剤（ME-05）が裏面70%以上付着しているか確認しながら作業してください。

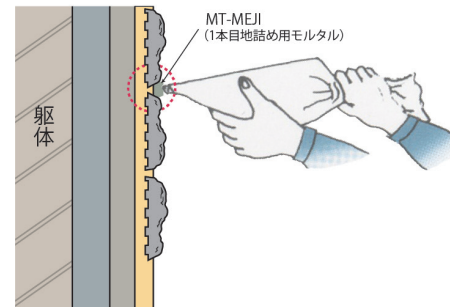
◎有効接着面積が70%以下の場合は、8mmのクシ目ゴテを使用し下地に塗り付ける弾力性接着剤（ME-05）の量を増やしたり、ストーン裏面に塗り付ける弾力性接着剤（ME-05）の使用量を増やしてください。

### 5. 養生

弾力性接着剤（ME-05）が硬化するまで十分な養生期間（夏季1日以上、冬季は3日以上）をとってください。

### 6. 目地入れ仕上げ

1. 目地部に目地袋などを用いて弊社目地材のMT-MEJIを充填してください。特に張り付けの際の目地部の盛り上がりが少ない箇所には1/2～同面位まで十分補充してください。
2. 目地仕上は充填したMT-MEJIが硬化する前に目地ゴテなどでしっかり押さえた後、ササラやブラシを使って荒めにかきすじをつけるように仕上げてください。



#### ※ポイント※

◎目地ゴテのコテむらがついても気にせず仕上げ、最後にササラやブラシなどを用いて、所々ひっかくように仕上げると、目地が風化した様に見せることができます。

### 7. 養生 / 清掃

通風、直射日光を避け、シート張りなどで養生してください。施工後十分な養生期間をとり、完全に乾燥していることを確認後、ストーン表面のダストや目地のダストを十分にブラッシングしてください。

◎CAN'BRICKはセメント二次製品となりますので酸洗いは厳禁です。